

大串ひろやす通信

発行責任者 千代田区議会議員 大串ひろやす 〒102-0083 千代田区麹町2丁目14-305 Tel/Fax 03-3221-1554 <http://www5d.biglbe.ne.jp/~ogusi/>

この通信では

以下の4点についてご紹介させていただきました。



	コーナー	内 容
1	トップページ	千代田区平成16年度予算が決まりました
2	私の一般質問	住民自治の実現を目指して4点質問を行いました
3	ちょっと教えて	千代田区文化芸術基本条例ができましたがどのような内容ですか
4	朗 報	四番町図書館に待望の閲覧席が16席できました
	コラム	1. 住民自治の確立は 2. 「千代田市」をめざす 3. 国家から人間へ

16年度予算審議のため全議員による特別委員会が編成されました



「予算案の概要」と予算書をもとに審議されました

25名全議員による予算特別委員会が編成されました。

Q、全議員による予算審議の感想は

A、今までの常任委員会での分割審議と違い全ての事業について質問が許されたのでいい緊張を持って臨むことができました。

Q、何を質問しましたか。

A、私は、7点質問しました。その項目は、

法務を充実すべきでは(現在は文書課で兼務)

「健康千代田21」の実行方法について(健康手帳を活用しては、健康づくり推進員とは)

社会を明るくする運動を安全・安心のまちづくりの体系に位置づけよ

障害者就労支援について(今年試行の成果

わかりやすい予算の概要書

は、NPOの特徴は、生活福祉課と福祉作業所そして保健所とこのNPOがあくまで対等の関係で協働できるようにすべき)

図書館でデータベース検索を可能にせよ

地域防災計画について(防災基本条例と地域防災計画そして災害対策計画との関係は、いざというときの区民の実践行動マニュアルを用意すべきでは)

生涯学習につて(人材バンクの活用方法を充実せよ。生涯学習レファレンスを図書館と連携して行ったらどうか)

Q、「予算の概要」書が年々改良されて、ずいぶんわかりやすくなりましたね

A、他の自治体からも参考にしたいと問い合わせもきています。以下の区のHPに掲載されていますので是非見て下さい。

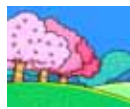
Q、私たちの税金がどのように使われるかがわかりますね。

A、その通りです。

真の住民自治の実現は

住民自治実現のために区はどこまで到達し、何が課題となっているのか

私の一般質問



質問では「人間力速報」を紹介しました

第1回定例会において私は「住民自治の実現を目指して」と題して、4点の質問を行いました。

召集挨拶で区長の言われた「地方主権」また「自治

の確立」の意味するところは何か。

～区長答弁抜粋～

地方分権というものの中身をつくっていくのは、地方公共団体の正に主体的な行動と動きそのものが、地方分権という中身をつくっていくという意味で、地方主権ということをし上げたわけでございます。（中略）そのことを考えますと、正に就任当初、市を目指すというのは、こうした地方主権というものと軌を一にしているというふうに私は考えておりますし、多くの区議会の議員も、そうしたことについては私と同じ考え方を持っているだろうと思います。

住民自治の実現に向けて、現在までの到達点と課題は何か。

～区長答弁抜粋～

住民自治と申しますか、参画というふうには私と考えておりますが、そうした部分については、大串議員がお話のように、必ずしも十分であるかどうかということについては、ご指摘のとおりだろうと思います。しかし、私なりに、あるいは区役所全体としては、こうした方向で、いろいろな形で取り組んでいるということは、ぜひご理解を賜りたいと思います。1つの例を申しますと、生活環境条例につきましては、これは区民がつくった条例だというふうに私は思っております。（中略）ある面では、私はこれは本当に住民自治という観点からつくられた条例だろうと思います。

コラム1

「住民自治の確立」は自治体と住民に委ねられました

憲法92条で謳われた「地方自治の本旨」とは一般に「団体自治」と「住民自治」の実現にあるとされています。「団体自治」とは国や都道府県との関係における自治体の自主・自立であり、「住民自治」とはその団体の仕事を地域の住民が自らの意思と責任において行っていくこととされています。つまり憲法に謳われた地方自治の本旨とはこの二つの自治の確立・実現を意味することとなります。

平成12年には地方分権改革が行われました。その最大の特徴は国と自治体との事務配分を見直し機関委任事務を廃止したこと。これは国と自治体の関係において自治体の自主・自立を図ったものでこれはまさに団体自治の確立に向けての改革が大きく行われたものです。もう一方の住民自治の確立という点は、どういうわけか手付かずとなりました。「住民自治の実現」については各自治体とその住民に委ねられたこととなります。

自治体と住民に委ねられました

政策情報の公開を

政策決定前の「政策情報」をわかりやすく整理して公開すべき。

～質問抜粋～

法政大学の松下圭一名誉教授は政策情報の公開が必要だと主張されています。著書「日本の自治・分権」の中で、「今まで自治体の広報として出されているのは政策決定後のお知らせとしての『広報情報』ですが政策決定前の『政策情報』の整理・公開が求められています。自治体の地域ないし政策の全体がわかるような『政策情報』の整理・公開がなされてはじめて市民、職員、首長、議会が同一情報で議論できるようになります。その『政策情報』としては主に三つに分類されますが、

1. 何が課題となるべきなのかという争点情報
2. そしてこの課題をめぐる統計・地図などの行政情報としての基礎情報
3. ついでこの課題を解決するのに必要な個別専門の技術情報となります」と。

～区長答弁～

いろいろな情報については、できるだけやり生のもを出すようにこれからも努力をしてまいりたいし、この3年間、そうした取り組みを私はしてきたというふうに思っております。



自治基本条例を策定せよ

住民自治のための制度手続きや政策基準などを謳う「自治基本条例」を策定すべきでは。

～区長答弁抜粋～

私はその前に、一つひとつの区政の事業をいかに参画という、そういう形でやっていくかという、そういうことを積み上げていくということがまず必要だろうと思います。あるいはお話のように、いろいろな政策情報というものをやはりきちっと出していくという、そういう土俵をつくるのが、まず、こうした条例をつくる上での前提だろうと私は思います。そういう意味では、まだまだそういう土俵になっているとは私は思いません。一方では、ご案内のとおり、政策会議の部会であります100万人部会でも、この議論はされておりますので、そうしたことを見きわめたいというふうに思います。

コラム2

改めて「千代田市」をめざすとは何か確認してみよう

基本構想にはこう説明されています。

「『市』をめざし、地方自治の基盤であるより一層の自治権拡充をめざします。特に都区制度などの特例的な制度については区民の身近な事務についての主導権の確立と税負担と行政サービスの関係を明確にし、区民サービスを充実させるためさらに基礎的自治体にふさわしい権限の確保に取組みます」と。ここはまさに団体自治の確立を謳ったものです。

また説明の後段では「その上で4割自治といわれる現行の地方自治制度を改め、区政の課題は区民自らの意思と責任で主体的に取り組める『真の住民自治』の確立をめざします」となっています。ここはいうまでもなく「住民自治の確立」を謳ったものです。

つまり「千代田市をめざす」という基本方針は、千代田区は団体自治と住民自治の確立をめざしますということを全国に宣言したことだと言えます。

ちょっと教えて



良月 報



文化芸術基本条例とは

国の文化芸術振興基本法は文化を通し、個人の本来持っている創造性や表現力、そして個性を、発揮することを目標とし、そのために国や地方公共団体の責務を定めた画期的な法律となっています。劇作家の山崎正和氏は、文化芸術振興基本法の制定は「小さいながらも日本の革命」と語り、「日本近代史上、初めて国民の情操と政治とが結びつくという大事件」と強調されました。この度、千代田区においてもこのような文化芸術基本法が策定されました。これは江戸開府400年事業を通し区民自ら発意してきた条例です。今年度は、区民参加で実施計画を策定していくこととなります。

四番町図書館に待望の閲覧席が16席できました



入り口を入ったところ

四番町図書館の資料調査室は、机に配置を工夫し調査だけでなく閲覧も可能となりました。利用者の方々から要望の多かった閲覧席が16席できました。希望者はカウンターにて申し出れば利用できます。

千代田図書館では近々日経テレコンや聞蔵などのデータベース検索が可能となります。詳細が決まったらご連絡いたします。

四番町図書館の資料調査室は、机に配置を工夫し調査だけでなく閲覧も可能となりました。利用者の方々から要望の多かった閲覧席が16席できました。希望者はカウンターにて申し出れば利用できます。

コラム3

国家から人間へ

「人間力」とは、人が信念や明確な目的を持って行動することにより他の人々を触発し、さらに周囲に活力を与える力であり、既存の価値体系では評価しがたい創造、建設の力である。

- ・問題をみずから発見し、解決のために強い意志と必要な能力を発揮して行動する。
- ・自分の潜在力に頼り、内より湧きあがったものを信頼して行動する。
- ・生じるリスクを把握し、それに伴う責任を自覚して行動する

このような特性を持つ「人間力」の中に、停滞した社会に活力を与えるヒントを探るべく人間力速報を発行した。(以上「人間力速報」から引用)

この研究機関は2年前までは国家や経済の未来予測「日本の潮流」を作っていました。しかしもはや国家や経済の未来を予測しても意味をなさないと現在の「人間力速報」に変えたそうです。

まさに国家から人間へ、です。

注目!

350年前の江戸時代に、世界ではじめての上水が整備されました

四番町歴史民族資料館ではこの上水遺構が展示されています。



江戸時代のちょうど鉄砲の放棄と同時期に上水の整備が進められたこと、何か不思議に感じますね。

編集後記

区議会の広報広聴特別委員会でも「政策情報」の公開をどのように行っていくのか議論されています。この3月から区議会のHPでは、委員会に示された資料や議員の発言などを1週間後には掲載できるようにしました。現在、何が課題となっていてどのような資料でどのよ

うな議論がされているのか、誰でも見ることができるようになりました。区議会のHPは <http://kugikai.city.chiyoda.tokyo.jp/> です。それでは。

千代田区議会議員 大串ひろやす

Tel/Fax 03-3221-1554

